

平成30年度宮代町防犯のまちづくり推進協議会会議記録

◇日時 平成30年8月17日（金）14:00～16:00

◇場所 役場202会議室

◇出席者（以下敬称略）

委員 上田悟、北原恵、戸邊靖之、但木和久、関根裕子、浅倉孝郎、菅原弘美、伊東文子、渡邊広子、林祐司、星喜助、中川定雄、大島稔、木村憲洋、長濱秀男、秋元正
以上16名

（欠席者：山口隆夫、本城千晶、中村一成、高橋司）

町長 新井康之

事務局 齋藤和浩、小川英一郎、田代宇隆、金子尚子、小島春樹

◇傍聴者 1名

◇会議概要

1. 会長及び副会長の選出

会長 上田 悟

副会長 北原 恵

2. 防犯のまちづくり推進協議会について

⇒資料1に基づき、事務局より説明を行いました。

【質疑応答】（カッコ内は発言者）

（大島委員）：委嘱期間が4月当初からの任期でないのはなぜか。

（事務局）：要綱、第4条により委嘱日は会議開催日となっている。今後は各団体と調整して年度の初めに委嘱期間を設けるよう検討を行う。

（大島委員）：会議回数について、年1回は少ないのでは。

（事務局）：2回目以降は会長により、必要に応じて開催するとなっている。より良い会議となるよう事務局も会議の回数について検討を行う。

3. 最近の犯罪状況について

⇒杉戸警察署生活安全課長戸邊氏より説明がありました。

〈犯罪情勢〉

- ・車上狙いが48件、昨年に比べ30件多い。組織的に活動している。
- ・宮代町で5月、6月に発生した声かけ事案については、行為者を確保し警察署にて始末書を書かせた。声かけ事案は1月から7月で19件。昨年と比べると13件多い。声をかけられた内、85%が小中学生。その内、女子の割合が70%。15時から18時の間に多く発生している。下校中など道路上で8割発生しているのので、地域の方々にパトロールをお願いします。

〈振り込め詐欺状況〉

- ・7月末時点で6件発生している。被害額は2120万円。7月末に警察官や銀行協会を騙る詐欺が和戸で発生した。ハガキでキャッシュカードを預かるといった内容のものが届いているので絶対に連絡しないように注意してください。

【質疑応答】（カッコ内は発言者）

（浅倉委員）：車上狙いが増えているということだが、犯人が捕まったケースはあるのか。

（戸邊課長）：数件ある。防犯カメラが設置されている店舗の駐車場で発生したものは、映像が決まるとなり確保した。犯人確保が困難なケースは防犯カメラがない場合、解像度が低い防犯カメラの場合だと犯人の性別も分からず捜査が難しい。

（浅倉委員）：児童への声かけについて、行為者の年齢に傾向はあるのか。

（戸邊課長）：20代や50代など年齢はバラバラである。

（北原委員）：声かけ事案について、始末書以降の対応はあるのか。

（戸邊課長）：身元引受人に対して、定期的に状況の確認を行っている。

（長濱委員）：宮代町の自転車盗難が杉戸町に比べて多いが、原因は駅が多いからなのか。

（戸邊課長）：そのとおり。宮代町に駅が3駅あり、そこでの被害が多くなっている。看板等で盗難被害に遭わないよう注意を促している。

（長濱委員）：自転車盗難の内、施錠していたのは何割か。

（戸邊課長）：昨年の傾向だと無施錠が7割、施錠が3割となっている。

（大島委員）：声かけ事案で実際に連れさらわれてしまった児童はいるのか。

（戸邊課長）：連れさられたという事件はない。

(上田委員) : 1 学期に発生していた不審者は捕まったのか。

(戸邊課長) : まだ捕まっていない。車のナンバーの目撃情報があり現在捜査中。

4. 町内自主防犯組織について

⇒資料に基づき、事務局より説明を行いました。

【質疑応答】

- ・ 質問なし

5. 町実施事業について

⇒資料に基づき、事務局より説明を行いました。

【質疑応答】

- ・ 質問なし

6. 防犯灯設置検討部会について

⇒資料に基づき、事務局より説明を行いました。

【質疑応答】 (カッコ内は発言者)

(大島委員) : 防犯灯の設置について、予算は決まっているのか。また、過去の新設実施数や金額に差があるのはなぜか。

(事務局) : 予算は決まっており、新設と既存の防犯灯の修繕費用を合わせたものになる。また新設については、防犯灯検討設置部会で審議し、必要と判断された箇所のみ設置するため、年度ごとに実施数に差が発生する。金額についても新設するにあたっての工事費を出しているため、周りの環境により電線の引き込み等が発生する場合と発生しない場合とでは金額が異なってくる。

7. 意見交換

氏名 (所属)	発言内容
但木委員 (前原中学校)	不審者対策として、生徒数の減少により下校時に集団で帰ることが難しくなってきたので、自転車通学を許可制にして素早く帰宅できるようにした。 課題としては自転車通学者が増えたので、自転車での交通事故について注意をする必要がでてきた。
関根委員 (宮代町 PTA 連絡協議会 (小学校))	小学生に対する声かけの対策として、夕方の買い物の帰り等に子どもたちを見守れるよう通学路を通るようにしている。
浅倉委員 (百間中 PTA 連絡協議会 (中学校))	スマートフォンを使用した事件に巻き込まれるケースの対策として、スマートフォンの使用状況のアンケートを取って、適切な使用方法を教えるといったことを考えている。また、一部の中学生が荒れているので、町民の方々には厳しい対応をお願いしたい。
渡邊委員 (宮代特別支援学校)	4月に職員に対して校内の防犯体制について確認を行っている。7月には杉戸警察署生活安全課協力の下、不審者が校内に入ってきたときの実践的な訓練を行っている。
伊東委員 (国納保育園)	保護者に対して送迎時の車上荒らしに注意するよう促している。
菅原委員 (宮代須賀幼稚園)	保育室は着替えが見えないようブラインドを掛けている。今のところ保護者から危険な目に遭った等の報告はない。
林委員 (日本工業大学)	4月、9月にオリエンテーションで交通マナーを指導している。また、SNSでの不用意な発信に注意するよう指導している。昨年、女子学生が声をかけられる事案があったので大通りを通るように指導している。町にはスマートフォンを活用した情報発信をお願いしたい。
木村委員 (姫宮地区連絡会)	防犯推進委員による情報交換を行っている。また、日常的にパトロールを実施している。
長濱委員 (古利根地区連絡会)	連絡会としての活動はなし。
秋元委員 (駅西口地区連絡会)	8月以外はパトロールを実施している。小学生は帰宅中には防犯ブザーを持っているが、家に帰った後に遊びに出ているときには持っていない。学校は遊ぶときも防犯ブザーを持つように指導して欲しい。
大島委員 (地域安全推進連絡協議会)	杉戸警察生活安全課戸邊課長の下、6連絡会で活動している。 防犯推進員のなり手がなかなかおらず苦勞している。
中川委員 (地域安全パトロール隊)	19時から21時の時間帯にパトロール活動を実施している。

星委員 (商工会)	リフォーム詐欺が発生している。「瓦がずれている…」といった飛び込み営業には注意して欲しい。不審な場合は商工会を相談窓口として活用して欲しい。
北原委員 (副会長)	散歩のコースを通学路にあわせたコースにするなどして見守りを行っている。町民全員で見守りができるようにしたい。
上田委員 (会長)	防犯について、ある地区が対策を強化すると隣接する地区の被害が多くなるといったイタチごっこが起きる。町全体で対策を取っていく必要がある。